

# 歴史散歩

Vol.1

新市霧島市が誕生し、人が増え、まちが広がりました。この広い霧島市内に点在する文化財を、今後シリーズで紹介していきます。

## 『国指定史跡 上野原遺跡』

所在地：霧島市国分川内地区

上野原遺跡は、2条の道跡に沿った52軒の竪穴住居群と、調理施設である39基の集石遺構、16基の連穴土坑などで構成され

た縄文時代早期前葉の集落です。（約9500年前）

定住化初期の様相を示す大変貴重な大集落で、平成11年に国指定史跡となりました。

また、台地南側では、縄文時代早期後葉（約7500年前）の完全な形の壺型土器が2個並んで発見され、周辺には土器埋納遺構や石斧埋納遺構も見つかり、まつりや儀式が行われた場所と考えられています。これらの貴重な出土品については、平成10年に国の重要文化財となっています。



## 『国指定史跡 大隅国分寺跡』

所在地：霧島市国分中央一丁目地区

天平年間（729年～748年）飢饉や疫病の流行で世情が不安定となったため、聖武天皇

は五穀豊穡、天下泰平を祈願して天平13年（741年）に国分寺建立の詔を出されました。

大隅国分寺跡には、康治元年（1142年）壬戌十一月六日の日付が刻まれる石造六重層塔、仁王像の残欠、国分寺六観音再興碑が建っており、周辺からは布目瓦が多量に出土しています。大正10年に国指定史跡となり、平成16年には大隅国分寺の瓦を作っていた始良郡始良町の「宮田ヶ岡瓦窯跡」が追加指定となりました。



平成17年12月6日

発行／霧島市役所 〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 TEL0995-45-5111(代表)  
ホームページアドレス <http://www.city-kirishima.jp> メールアドレス [info@city-kirishima.jp](mailto:info@city-kirishima.jp)

編集／広報広聴課 TEL0995-64-0955  
FAX0995-64-0934